

第28回・令和7年度 全視連功労者 功績概要

	氏名	功績概要
1	青森県 石山 宏一 いしやま こういち	青森県総合社会教育センターの委嘱を3度（平成11・14・20年）受け、メディア利用教材企画委員として、「南部裂織」「小川原湖」「十和田湖を知ろう」の3作のマルチメディア郷土学習教材を作成。教材は県内の小中学校へも提供され広く活用された。平成14年度から同20年度まで公立上北視聴覚ライブラリーIT事業の指導者講習会の講師として、地域で活躍する人たちや教職員のITスキルの向上に貢献した。令和5年度には、日本教育工学協会の全国大会を青森県で開催し、大会実行委員長を務め、県内外の教職員の指導力向上に貢献するなど、学校教育および社会教育の推進、生涯学習の振興に尽力した。
2	岩手県 金濱 芳孝 かねはま よしたか	昭和42年にNHK八戸放送局技術部に入局。退職後、映写ボランティア「シネマ友の会」に所属し、盛岡地区の各種団体・施設などで実施される映画会の運営を長期にわたり支援し、子供会や学校、老人施設等からの依頼に応じて各種映画会の運営を継続的に支援している。「フィルムだからこそ伝えられるものがある」という信念のもと上映している。16ミリ映写機操作技術講習会での実技指導等、人材育成事業に携わるとともに、自らも常に貪欲に学び、自己研鑽に努めている。また、映写に関する種々の機器類に不具合が生じた場合等、専門の知識と技術で修理もこなすなど、視聴覚ライブラリーの運営に欠かせない人材である。
3	山形県 瀬野 千恵子 せの ちえこ	平成13年に読み聞かせボランティアサークル「八幡よみきかせ隊」を創立し代表に就任し、現在まで24年間活動している。酒田市内の保育園、小中学校、高齢者施設等で広く読み聞かせを行っている。平成14年に地元に伝わる伝統文化や民話を題材にした方言による手作り紙芝居の制作を開始。完成した紙芝居は山形県自作視聴覚教材コンクール等で数々の賞を受賞し、高い評価を得ている。さらに、平成24年には子どもの読書活動を推進する活動が認められ、「子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰」を受賞するなど、視聴覚教育の進展のみならず社会教育活動の発展にも大きく貢献した。
4	茨城県 軍司 幹光 ぐんじ まさみつ	昭和44年に公立小学校に奉職。新採で視聴覚主任となり、以後3校続けて視聴覚主任となる。それらの経験を生かし、茨城大学教育学部附属小学校勤務時も視聴覚主任に就任し、県・郡研究発表会で講師を務め、視聴覚教育の指導者として、その振興・促進に努めた。退職後は、茨城県視聴覚教育振興会の事務局次長・事務局長に就任し、社会教育における視聴覚教育に本格的に取り組むようになった。事務局を辞した後も、アドバイザーとして外部から事務局の運営に協力し、視聴覚教育の振興に務めてきた。昨年、事務局長に再任され、これまでの経験を生かして事務局の運営に従事し、視聴覚教育振興のために尽力している。
5	栃木県 坂井 幸一 さかい こういち	民間企業在職中の平成7年に「うつのみや映写ボランティアの会」に入会し、同29年に会長に就任し、現在まで30年間にわたり活動している。同会は16ミリ映写技術講習会を受講した者の集まりで、活動としては宇都宮市視聴覚ライブラリー主催の映画会のサポートはもとより、地域の自治会・子供会・老人会での映画会の自主開催等を通して地域の社会教育に寄与している。また、栃木県立博物館で「うつのみや映写ボランティアによる名画鑑賞会」を毎月実施しており、多くの方々に喜ばれている。また、宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員として現在も視聴覚ライブラリーの活動をサポートしている。
6	愛知県 豊田 聡彦 とよだ としひこ	昭和59年に公立小学校に奉職。昭和62年からの豊橋市視聴覚教育センター専門部員の6年間では、視聴覚機器の活用について小中学校への支援だけでなく、視聴覚教育センター内の視聴覚機器の充実にも携わり、一般利用者の興味・関心を高めてきた。愛知県視聴覚教育研究協議会事務局員として、NHK名古屋放送局と協力しながら、視聴覚教育の推進に尽力した。現在は市の情報囃託員として、小中学校や図書館、視聴覚教育センター等からの、視聴覚機器及びICTに関する問い合わせに親身になって対応し、本市の視聴覚教育を支えている。このように、視聴覚教育研究の指導・普及に尽力した功績はきわめて多大である。